

令和2年度 第3回経営協議会 議事録

日 時：令和3年3月9日（火）14：00～15：12

出席者：稲永議長（理事長）、木村委員（学長）、百岳委員（専務理事）、宮脇委員、金子委員、徳永委員、庄野委員、渋沢委員、古河委員（副学長）、大曲委員（副学長）小松委員（副学長）、光石監事、秋山監事

場 所：長崎県立大学佐世保校第1会議室・第2会議室

○配付資料

- 【資料 1】 長崎県公立大学法人の令和3年度計画(案)
- 【資料 2】 長崎県公立大学法人 令和3年度予算(案)
- 【資料 3】 大学院博士後期課程の設置認可申請について
- 【資料 4】 令和2年度卒業予定者内定取得状況
- 【資料 5】 一般選抜 志願者数・志願倍率 推移

○議 事

【審議事項】

- (1) 令和3年度計画（案）について
- (2) 令和3年度予算（案）について
- (3) 大学院博士後期課程の設置認可申請について

【報告事項】

- (1) 令和2年度卒業予定者内定取得状況について
- (2) 令和3年度一般選抜志願状況について

【審議事項（1）】 令和3年度計画（案）について

事務局より資料1に基づき説明を行い、案のとおり了承された。

なお、最終の年度計画案については、3月26日に開催予定の理事会で審議する。

（主な質疑等）

委員）「IR機能の強化を図る」とあるが、IRの内容はどのようなものか。

事務局）Institutional Research の略で、大学に蓄積している成績や就職等のデータを統計的に分析し、その結果を教育の質の向上のために有効的に活用するものである。

【審議事項（2）】令和3年度予算（案）について

事務局より資料2に基づき説明を行い、案のとおり了承された。

なお、最終の予算案については、3月26日に開催予定の理事会で審議する。

（主な質疑等）

委員）支出予算の「修学支援新制度の減免実績による減」とはどういうことか。

事務局）修学支援新制度が令和2年度より開始され、令和2年度は見込みで予算計上していたが、令和3年度は令和2年度実績をもとに予算額を算定しており、その結果予算額減となっている。

委員）民間では建物を建設する際は借入金を財源とし、できる限り早く完成するよう計画を立てるが、大学の建設の場合、財源や年度計画はどのようになっているか。

事務局）地方独立行政法人は長期借入ができないため、建物は本来設置団体が設置するものであるが、県の予算事情により、県からの補助金を財源に県と調整しながら計画を立てて進めている。

【審議事項（3）】大学院博士後期課程の設置認可申請について

事務局より資料3に基づき説明を行い、案のとおり了承された。

（主な質疑等）

委員）博士号を取得しても就職が難しいと聞く。就職支援にも力を入れてほしい。

事務局）就職支援もしっかりやっていきたい。

【報告事項（1）】令和2年度卒業予定者内定取得状況について

事務局より資料4に基づき、令和2年度卒業予定者の令和2年2月28日現在における就職内定取得状況について報告を行った。

【報告事項（2）】令和3年度一般選抜志願状況について

事務局より資料5に基づき、令和3年度の一般選抜志願状況について報告を行った。

以 上